

日赤おおつ

なから



[Rainy day]

写真提供：今村 真治（検査部）

マンモグラフィ検診施設画像認定を
更新(A評価取得)しました。

当院では、平成18年に第1回目のマンモグラフィ健診施設画像認定で最高ランクのA認定取得以来、今回3度目の更新で再度A評価の認定を取得しました。A評価とは、検診精度管理の線量・画質基準を満たす最も優れたマンモグラフィ検診施設であるとの認定です。マンモグラフィは従来の視触診では発見されにくい早期乳ガンの診断に威力を発揮し、今日の乳がん検診の一翼を担っており、当院においても年間約3000人のマンモグラフィ検診を行っています。



これからも、みなさまが安心して受診できる施設として、引き続き努力してまいります。

■診療受付時間……午前8時から■初診患者さま……①番窓口■再診患者さま……診察受付機

ご紹介患者さまは

8時30分より⑩番窓口で
受付します。

❖病院敷地内禁煙にご協力ください❖

□ 腔 ケ ア

□ は食べる事、話す事、息をする事、または表情を豊かにする事など元気に自分らしく生活するためにさまざまな役割を担っている。日頃から口腔の健康づくりに取り組み、口腔内の疾患を予防することは全身の健康を守るためにも大切である。特に高齢化社会を向かえる今日、健康長寿を目指すうえでも、口腔ケアの普及は大変重要である。



歯科部長
歯科口腔外科部長
安東 亮宏

専門的な口腔ケアには口腔の清掃を中心とするケアと機能訓練を中心とするケアがある。すなわち、口腔清掃の実施・指導および摂食嚥下機能障害に関する訓練を行い、口腔機能向上でQOLの充実を目指すものである。

口腔ケアの主な目的はむし歯・歯周病などの口腔内の病気、または咀嚼・嚥下・会話などの口腔周辺をとりまく機能障害のトラブルを早く見つけ、取り除くことである。さらに口腔ケアのもう一つの重要な役割として誤嚥性肺炎予防がある。口の中には、たくさんの細菌が存在しているので、口の中が汚れてしまうと、細菌もどんどん増えていく。病気や高齢により、食べ物を飲み込む力や咳をする力が弱くなってくると、口の中の細菌が誤って気管の中に入り込み誤嚥性肺炎という病気を引き起こすこともある。

口腔ケアというと専門的な治療であると難しく思われるかも知れないが、基本は食後の歯磨きであり、私達が日頃から簡単に取り組めるものである。歯と歯の間や歯と歯肉の境目は歯垢がたまりやすく、むし歯や歯周病等の口腔内の病気の原因になることはもちろん、誤嚥性肺炎の原因にもなり得る。自分の歯でできるだけ物を食べ、適切な歯磨きを行い、口腔機能を円滑にするために口腔内の環境を保つことが実は最高の口腔ケアである。

滋賀県がん診療広域中核拠点病院・滋賀県肝疾患診療連携拠点病院
がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・救命救急センター
総合周産期母子医療センター・基幹災害医療センター・滋賀県難病医療拠点病院

大津赤十字病院

〒520-8511 大津市長等1-1-35
TEL.077-522-4131 FAX.077-522-4385
<http://www.otsu.jrc.or.jp>

新規の向精神薬

ほぼ、1950年から、1960年にかけて開発された向精神薬や、その類似の薬剤が、長年、精神科処方薬剤の主力でした。

1990年代以降、新たな抗うつ薬（うつ病・うつ状態に適応）として、SSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害薬）や、SNRI（セロトニン・ノリアドレナリン再取り込み阻害薬）等が、次々に登場し、抗精神病薬（幻覚妄想や躁状態を抑制）も、非定型抗精神病薬が発売され、徐々に、主力となってきています。

「私には、縁がない話」と感じられる方も多いかも思えません。（日本には、正確なデータがないのですが）近年のアメリカのデータでは、売上高で、各種薬剤の、第一位は、抗精神病薬、二位、脂質改善薬（高脂血症に適応）、三位、プロトンポンプ阻害薬（胃潰瘍や逆流性食道炎に適応）、四位、抗うつ薬であり、やがて、日本も同様の傾向になる可能性があります。

新たな作用を目指して開発された薬剤もありますが、多くの新規向精神薬に共通するのは、副作用の低減を主な開発目的としています。その意味で、向精神薬を使用しやすい環境が整えられてきたわけです。しかしながら、SSRIのアクティブーション症候群、中断症候群、セロトニン症候群、新規抗精神病薬での糖尿病状態惹起の可能性など、新たな問題も生じてきています。また、向精神薬による心電図異常や、不整脈を惹起する可能性も改めて大きな話題になっています。

薬剤師や看護師とも協力して、皆さんのお話もよく伺って、副作用等に注意し、新たな薬剤を、より安全に、より有意義に使用し、精神症状の改善・生活の質の改善を目指していく所存です。



神経科部長
精神科部長
下清水 博明

1 「小児外科」ってどんなお医者さん？

(1) 子どものお医者さんといえば、小児科だけでしょうか？

大人に内科と外科があるように、子どもにも内科と外科があります。

小児科=子どもの内科 小児外科=子どもの外科

*ここでいう「子ども」とは、生まれたばかりの新生児から、原則的に15歳までのお子さんを指します。

(2) なぜ、小児外科というお医者さんが必要なのでしょう？

それは「子どもは単に大人を小さくしたものではない」からです。子どもの体は臓器が発育途中で機能も未熟で、体重や体力が大人よりも劣ります。さらに子どもの病気は幅広く、子ども特有の病気も存在します。そのため、専門知識をもち、子ども専門のトレーニングを受けたお医者さんに診療（手術を含む）をしてもらうことが必要です。

小児外科は手術を必要とする病気を中心に診ていますが、一般的に手術を必要としない多くの病気も診ています。これは、実は手術が必要な病気が隠れていないか、見逃さないためです。

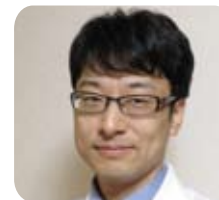
(3) 小児外科の主な対象領域と対象外の領域

- 主な対象領域:腹部・呼吸器・頸部(首)の外科
- 対象外領域:心臓・血管・脳・整形外科など

*対象領域にご注意ください。

小児外科は心臓外科、脳神経外科、整形外科、形成外科などをのぞく、消化器、呼吸器、泌尿器などの外科的な病気を治療します。日本では50年前に産声を上げ、最近では世界でもトップレベルになりました。生まれたて、しかも1000gにも満たない赤ちゃんでも場合によっては手術が可能になり、助けることができるようになってきました。小児外科の病気は、生まれつき異常がある先天異常のものも多く、病気の状態も複雑です。病状が急激に悪化することもありますので、手術前・手術中・手術後のすべてにおいて慎重で専門的な管理が必要になります。

小児外科では、将来を担う子どもたちに体の負担が少なく、より安全な手術術式などを考慮し、それ以後の人生の質を高く、健やかにすごせるような医療を提供することを目指しています。それが、小児外科の責務であり、希望と考えています。



小児外科医師
山田 弘人



2 病気を疑ったら

いつも診てもらっている信頼されているかかりつけの小児科(小児内科)にまずご相談ください。その先生から紹介してもらい来院されることをお勧めします。大津赤十字病院小児外科では、地域の小児科・産科の先生と連携をとっており、院内の小児科、産科、外科と協力して治療にあたりますので安心してご相談ください。

3 どんな病気を相談できるの？

吐く(嘔吐)、うんちが出にくくておなかが張っている(腹満)、脚の付け根が腫れているなどは小児外科疾患の可能性があり。

下記のような異変がみられたら、受診してください。

●頻度が高く、ご家族が気づかれることが多い疾患

- 泣いたときや入浴時などに足の付け根がはれる。⇒鼠径ヘルニア
- 男の子で陰囊(精巣などを内部に含む袋)の左右差がある⇒陰嚢水腫
- 男の子で陰嚢(精巣などを内部に含む袋)内に睾丸を触れない⇒停留精巣
- でべそになっている⇒臍ヘルニア
- 肛門の周りが赤くはれる、時に化膿している⇒肛門周囲膿瘍、痔瘻など

●新生児に多い疾患(産科・新生児科と連携して治療する疾患)

- 食道閉鎖、腸閉鎖、鎖肛
- 横隔膜ヘルニア、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、腸回転異常症など

●乳児期以降に多い疾患

- 肥厚性幽門狭窄症
- ヒルシュスプルング病
- 胆道閉鎖症、胆道拡張症など

●小児がん(小児科や放射線科と連携して治療する小児腫瘍)

- 神経芽腫、肝芽腫、ウィルムス腫瘍、奇形腫、横紋筋肉腫など